

平成23年12月20日

東日本大震災における広島大学の対応について

第23回学長定例記者会見（平成23年11月22日）以降、広島大学が対応した内容を下記のとおり報告いたします。（詳細は、大学HPをご覧ください。）

本学は、地震により被災された皆様に対して、引き続き、できうる限りの支援を行う所存です。

記

1. 医療活動支援関係について

(1) 「三次被ばく医療機関」としての広島大学の活動について

○ 緊急被ばく医療チームを編成し、福島県へ連続派遣。

3月12日（土）第1班を派遣し、12月13日（火）現在までに38班、延べ1,159名を派遣しています。

基本チーム構成は、医師2名（うち1名は救急医）、診療放射線技師1名、看護師1名、事務職員2名の計6名で、第13班（4月28日出発）以降は一旦、3名体制としましたが、第19班（5月20日出発）から3～11名体制とし、一時帰宅に伴うスクリーニングに対応するとともに、7月からは福島第一原発内に設置の「救急医療室」への救急医の派遣も行っており、11月からは、看護師も順次派遣しています。

(2) 広島大学病院での被災者医療支援について

内部被ばく特別検診

毎週月曜日午後、予約制によりホールボディカウンタを使用した内部被ばく特別検診を実施（8月1日から受付開始）。

※ 12月12日（月）までの受診者数 50人 【年内予約者55人】

【本件に関するお問い合わせ先】

財務・総務室 総務グループリーダー 山根

TEL：082-424-6011